

冬季に流行のノロウイルス等による感染性胃腸炎・食中毒に注意しましょう！

<感染方法>

- ・汚染された貝類を食べる
- ・汚染された手での調理から、口に入る
- ・汚染された嘔吐物や便を処理した際に、手から口に入る
- ・乾燥して浮遊したウイルスを吸い込む等

食中毒の約7割で原因食品が特定できていません

<予防方法>

手洗いの徹底・マスクの着用



石けんには、ノロウイルスへの効果はありませんが、手の脂肪等の汚れを落とすことで、ウイルスを手指から剥がれやすくする効果があります。

※アルコールによる手指消毒は効果がありません。汚染場所や衣類の消毒には、次亜塩素酸ナトリウム(市販の漂白剤)が有効です。

<市販の漂白剤:塩素濃度5%の場合の希釈方法>

消毒対象	濃度(希釈倍率)	希釈方法
便や嘔吐物が付着した床、衣類の浸け置き、トイレの消毒等	0.1% (1000ppm)	500mlのペットボトル1本の水に10ml(ペットボトルキャップ2杯)
食器等の浸け置き トイレの便座、ドアノブ、手すり、床等	0.02% (200ppm)	500mlのペットボトル1本の水に2ml(ペットボトルのキャップ半分)

<症状>

- ・潜伏期間(感染～発症まで):24～48時間
- ・主症状(1～2日):激しい嘔吐、下痢、腹痛、発熱は軽度
- ・治療法:抗ウイルス薬はありませんが、早めに医療機関を受診してください。



参考資料:東京都福祉局「学校等における感染症予防チェックリスト」 厚生労働省「ノロウイルスに関するQ&A」

平日勤務時間内に嘔吐物を発見した場合は教職員または清掃員へ連絡してください。それ以外の時間は下記の場所に処理セットが設置してありますので、添付してあるマニュアル等を見ながら発見者が対応するか、困難であれば可能な限り早く平日時間内に報告してください。

- ・教務課 ・学生課 ・学校臨床支援センター ・図書館 ・如月寮 ・信夫寮 ・葵寮
- ・人間発達文化学類 共生システム理工学類支援室 ・行政政策学類 経済経営学類支援室

保健管理センター 電話 024-548-8068